



H30スローガン

「協働」



平成30年 6月29日(金)
発行所: 中部教育事務所

「形式」ではなく「支援の質」で勝負し、
学校や先生方のパフォーマンス向上のために頑張ります!

重点支援訪問及び支援（計画）訪問が 各学校でスタート!



5月の下旬から、本事務所管内の12市町村の各学校において、『重点支援訪問』及び『支援（計画）訪問』がスタートしました。

『重点支援訪問』については、県教育委員会と市町村教育委員会の指導主事等からなる「支援チーム」による訪問で、『支援（計画）訪問』は、市町村教育委員会と教育事務所が連携した学校訪問となっております。

どちらの訪問においても、右の『授業改善4+4のポイント』の徹底と「迅速・丁寧な対応」をコンセプトに、市町村教育委員会と緊密に連携を図りながら実効性のある学校支援訪問を目指しています。

日頃の授業を見せていただき、子どもたちのために授業改善について一緒に考えていきましょう。

個々の教師の授業に対する チェックポイント	学校の組織的対応に対する チェックポイント
1 子供一人一人の理解度を1単位時間の授業の中で評価し、定着や習熟を図る時間が確保されているか?	1 全国学テ、みやざき学テ、CRT、NRT等の学力テストを「分布」と「経年変化」の視点から分析しているか?
2 指導内容が精選されており、テンポや間に配慮して授業を進めているか?	2 理解が不十分な子供に対する補充指導の場が確保されているか? (1日、学期、年間)
3 授業内容は子供の実態にマッチしているか? (平均をやや下回る子供も理解できる内容か?)	3 職員が相互に授業を気軽に参観し、評価し合う取組が行われているか?
4 教師の指示や発問は的確で、子供に伝わっているか? (音量、話し方も)	4 授業の基盤となる態度 (相手の意見を聞く、わかりやすく話す、声の大きさ、ノートのまとめ方等)の育成を意識した取組がなされているか?



重点支援校訪問



管内の重点支援校訪問では、〔参観授業+フィードバック〕を年間3回実施します。

フィードバックは、参観した支援チームメンバーと授業者との1対1で下のような内容で、和やかな雰囲気の中で行っています。

- ① 『授業改善4つのポイント（個々の教師の授業に対するチェックポイント）』に照らして、本時の成果と課題を洗い出し、今後の改善点について一緒に考えます。
- ② 学力調査の結果を提示した上で、児童生徒個々の習熟状況を分布でとらえ、どの児童生徒をターゲットに授業を行うのかを一緒に考えます。
- ③ 次回の訪問までに解決していく課題を一緒に整理していきます。



H30スローガン
「協働」



平成30年 6月29日(金)
発行所: 中部教育事務所



日本の
ひなた
宮崎県

「形式」ではなく「支援の質」で勝負し、
学校や先生方のパフォーマンス向上のために頑張ります!

「校内研究支援」で各学校のサポートを!

「3号」でもご紹介しましたが、中部教育事務所では独自の取組として、「**校内研究支援**」を行っております。

早速、多くの学校からお申し込みをいただき、それぞれの学校とやりとりをはじめております。実際の支援は右の写真のように、具体的な資料やデータを提示しながらの内容となります。

今後、夏休みを中心に、各学校の研究主任の先生方と、「学力調査の結果」の生かし方や、校内研究の在り方、授業参観の視点など、各学校のニーズや課題に応じた支援を行っていきます。授業改善や校内研究でお悩みの学校は、どうぞ今からでも結構ですので、各地区指導主事までご連絡ください。

中部教育事務所の本年度のスローガンは『協働』。学校と「協働」して、子ども達の確かな学びのために、できる努力をしています。



自ら学ぶ事務所スタッフ： 所内勉強会を自主的に行っています。



4月から新たなメンバーでスタートした中部教育事務所ですが、各学校のニーズに応じた研修や支援が行えるよう、自主的な勉強会が何度も開いています。

日常的な業務の中での会話が勉強会につながり、「支援の質」を高める勉強会となっています。

ある本の中に「**学び続ける人しかチャンスをつかめない。**」という言葉がありました。めまぐるしく変化する時代の中にあり、教える私たちこそが「学び続け」なければ、これからの時代を担う子ども達を育てていくことはできないのではないかと考えます。

私たち教育事務所職員は、これからも学び続けていきます。

